

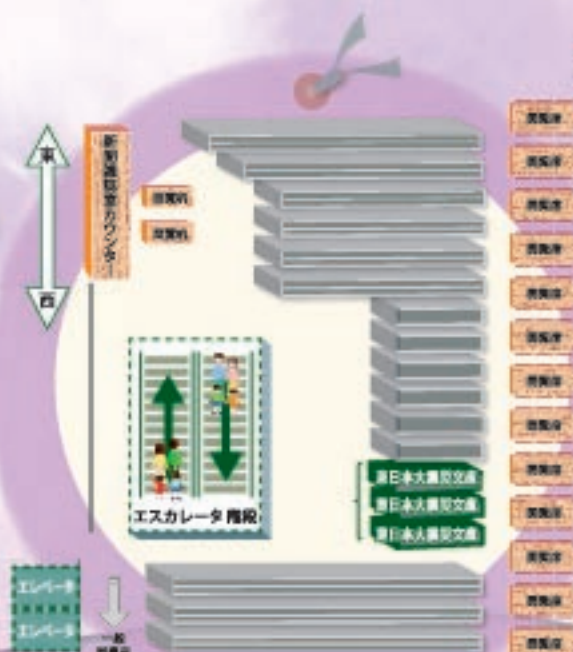
東日本大震災文庫を公開しました

記憶を記録に未来へ

宮城県図書館では、震災復旧工事終了後の7月3日の再開館に併せて3階東側の新聞・雑誌室の一画に「東日本大震災文庫」を公開しました。

書店で購入できる図書はもちろん、県内各自治体や病院、学校などの各機関や個人の方からご寄贈いただいた東日本大震災に関する資料が並んでいます。

今回の特集では、この「東日本大震災文庫」をご紹介します。



「東日本大震災文庫」とは

平成23年3月11日に発生した、東日本大震災に関する資料を広く収集・整理して、県民の皆様にご利用いただき、これからの防災対策や災害復興に役立ててもらうために公開したものです。ここに集められている資料としては、図書や雑誌以外に一枚のチラシ、掲示物、ミニコミ紙など、当時をそのまま伝える資料も含まれています。それらのひとつひとつが、この未曾有の災害の生々しい記録であり、貴重な資料です。今後同じような被害を繰り返さないことを願いながら、被災地の県立図書館として、資料の中に込められた様々な想い・記憶を「記録」として未来永く後世に伝える役目を担っています。



ご利用いただくために

「東日本大震災文庫」で所蔵している資料にはここにしかないものも含まれておりますので、ご利用は館内のみでお願いいたします。

なお、貸出可能なものは、同じ3階中央貸出カウンター前の書架にご用意しておりますので、こちらをご利用ください。



貸出可能な資料については、3階中央貸出カウンター前の書架にご用意しております。



震災関連資料の寄贈のお願い

今後も様々な震災に関連する資料が刊行されると思います。当館ではこれからも、東日本大震災の記憶を風化させることのないように、広く震災の記録を集めてまいります。この震災の記録を後世に未来永く残していくためにも、多くの皆様から関連資料をご寄贈くださいますよう、ご協力をお願いいたします。

収集部数：可能であれば3部の寄贈をお願いします。
(電子データは1部で結構です。)

寄贈方法：ご持参いただくか、下記送付先にお送り下さい。
郵送の場合、送料はご負担いただきますようお願いいたします。なお、ご寄贈の際は、「東日本大震災関係資料送付書」(本館ホームページからダウンロード可)を記入し、資料と合わせて送付願います。

送付先：〒981-3205

宮城県仙台市泉区紫山1-1-1 宮城県図書館
震災文庫整備チーム



東日本大震災文庫に関するお問い合わせ先

宮城県図書館 震災文庫整備チーム

TEL:022-377-8498

FAX:022-377-8492

e-mail:librarysb@pref.miyagi.jp



何を広く集めているのか

東日本大震災をテーマとした様々な分野の資料を集めています。具体的には、販売されている図書・雑誌はもとより、宮城県や県内各自治体及び関係機関による当時の被災状況、各方面からの支援活動の様子がまとめられたもの、また、ライフラインをはじめとした、各分野で復旧・復興が進められていく過程がまとめられた行政資料も収集しています。その他、教育関係機関の資料集・広報紙・被災後に行われた学校行事関係の資料なども後世に伝えるべき資料として集めています。

これらの印刷された資料以外にも、震災直後の手書きの掲示物があります。電気・電話が使えない状況下でのライフラインに関する情報などから当時の緊迫した生活を読み取ることができます。他にも避難所で掲示された壁新聞などの貴重な資料が集まっており、これらの資料からは、少しずつ復興の兆しが芽生えている様子がうかがえます。

このような資料をぜひ直接手に取ってご覧いただき、ご活用いただければ幸いです。資料数は平成24年7月末現在で、主な資料として図書は646冊、新聞27種、雑誌は68タイトル459冊となっています。



1枚もの手書きの掲示物などはクリアファイルに入れて、自由に閲覧いただけるようにしております。